

令和3年度予防接種対策委員会 会議録

- 1 開催日時
令和3年11月12日（金）
開会 午後2時
閉会 午後3時
- 2 開催場所
尾張旭市保健福祉センター 4階 シアタールーム
- 3 出席した委員（5名）
金森俊輔、佐伯公、松尾功、澁谷いづみ、大江英之
- 4 欠席した委員（2名）
森下雅史、新川成哲
- 5 傍聴者数
0名
- 6 出席した事務局職員等
 - (1) 事務局職員
健康福祉部長 竹内元康、健康課長兼ワクチン接種推進室長 西尾哲弥、健康課主幹 加藤ひとみ、健康課長補佐兼母子保健係長兼ワクチン接種推進室長補佐 對島智美、健康課健康増進係長 秋山さちこ、健康課兼ワクチン接種推進室副主幹 上原敦子、健康課主査 北辻潤子、健康課兼ワクチン接種推進室保健師 関菜々子
 - (2) 関係職員
健康都市推進室長補佐兼ワクチン接種推進室長補佐 谷口洋祐、健康課兼ワクチン接種推進室保健師 中恵子
- 7 議題等
 - (1) 令和2年度及び令和3年度尾張旭市予防接種実施状況について
 - (2) 予防接種間違い事例について
 - (3) 令和4年度尾張旭市予防接種事業実施計画（案）について
 - (4) BCG 個別接種化に向けて
 - (5) 予防接種による健康被害の発生について
 - ア 予防接種健康被害救済制度の流れ
 - イ 健康被害の概要
 - ウ 関係書類について
- 8 会議の要旨

1 開会	
事務局	<ul style="list-style-type: none">・ 健康福祉部長挨拶・ 資料の確認・ 予防接種による健康被害に関する会議録の署名者の選出 金森委員長と佐伯副委員長に決定

委員長	挨拶、新たな委員の紹介
2 議題	
<p>(1) 令和2年度及び令和3年度尾張旭市予防接種実施状況について</p> <p>(2) 予防接種間違い事例について</p> <p>(3) 令和4年度尾張旭市予防接種事業実施計画（案）について</p> <p>※時間の都合により、資料を事前配布し、事務局の説明は割愛。</p>	
委員 A	<p>予防接種の接種間隔の改正後は、間違いが減ってきていると思うが、同一ワクチンの接種間隔の間違いがまだある。各医療機関が接種間隔を把握するよう医師会から啓発していくが、行政からもお願いしたい。</p>
委員 B	<p>令和2年度の事例（過剰接種）だが、母子健康手帳の後ろのページの日本脳炎、2種混合の2期の記録を見落とししたということではどうか。現在は母子健康手帳の記録欄が変わっているが、当分の間はこのような事例が起きると考えられる。これに対して何か良い案はあるのか。</p>
事務局	<p>尾張旭市・瀬戸市の両市から、日本脳炎と2種混合の2期については、後ろのページの記録も確認するよう注意喚起している。医療機関では、受付の方も含め、二重三重のチェック体制が必要になるため、周知文等で依頼する。</p>
委員 B	<p>新型コロナウイルスワクチンの接種後は2週間間隔を空けないと間違いになるのか。</p>
事務局	<p>接種後は次の予防接種を接種する前に必ず2週間空けなければならない。</p>
(4) BCG 個別接種化にむけて	
事務局	資料に基づいて説明
委員 C	<p>○引っかけ傷等の事故が発生した場合の陶生病院での受け入れ体制について</p> <p>引っかけ傷につけるリファンピシン軟膏は、処方箋が出てから作るため、休日や当直帯に対応することは難しい。また、当直帯（土日・祝日を含む）は小児科医師1人勤務のため、受診も不可。</p> <p>医療機関からの接種時のトラブルに関する連絡・紹介は、月曜日から金曜日までの平日午後5時までであれば対応可能。</p> <p>○コッホ現象（疑い）が発生した場合の対応について</p> <p>緊急性を要さないため、まずは家族から接種した医療機関に問い合わせてもらい、家族に数日間同じ環境・光源の下で写真を撮ってもらう。その写真を見て各医療機関で判断してもらう。大阪の保健所のホームページのスライドを参考に判断することが多い。各医療機関が診断し、必要な場合は、陶生病院に紹介してもらうという形をお願いしたい。各医療機関が診断するためには、研修会においてコッホ現象の説明もして</p>

	<p>おくとい。</p> <p>なお、写真（個人情報）のやり取りをどのように行うかは今後検討が必要。</p> <p>○陶生病院の受診日について</p> <p>コッホ現象と判断された場合は、ツベルクリン反応の判定に進むため、可能な限り月曜日から水曜日までに医療機関から紹介してもらえると助かる。少なくとも平日の午前中に紹介してもらいたい。</p>
委員 A	<p>個別化後に接種実施を希望する医師には、今年度は集団接種で接種してもらっているが、1回やってできるようになるものではない。研修会は開催する必要がある、各医療機関の医師には繰り返し復習してもらえない。</p> <p>事故やコッホ現象への対応については、陶生病院に迷惑をかけることがないように医療機関に徹底して周知していく必要がある。なるべく週末に接種をしない等も含めて検討が必要。</p>
事務局	<p>土曜日に接種し、引っかけ事故が発生した場合、できるだけその日から塗布した方がよいと言われているリファンピシン軟膏を陶生病院で処方できないことも踏まえて、委託時に土曜日の接種は見合わせる等の曜日の制限も、医師会や瀬戸市と協議していかなければならないと感じている。</p>
委員 B	<p>急性の傷害を考えると、金曜日、土曜日は避けた方がいいということになる。個別化後、各医療機関では多くても十数人を接種することになると考えられるが、そのくらいならやれるのではないか。</p>
<p>(5) 予防接種による健康被害の発生について</p> <p>※審議内容に個人情報が含まれ、尾張旭市情報公開条例第7条第1号に掲げる非公開情報に該当するため、非公開。</p>	
3	その他
事務局	追加資料（予防接種副反応報告：ロタ）の説明
4	閉会